

鎌入れの結果は 收穫不足を來し

農家は非常に狼狽

セイと二三分の増收

石城郡下本年度の稲作は目下中生種を刈取中だが第一回の豫想收穫高は十七萬三千餘石で前年より約五分見當の増收だったが鎌入れの結果は非常に不足を來し當業者も非常に狼狽してゐる

地方に

よつては却て前年より減收を叫ばれてゐる處もあり總體から見れば前年と大差なき模様で増收しても二分乃至三分見當のものと思はれてゐる、これは播種期に寒冷だったのと收穫期に入つてから蠶蟲稻熱病が郡下全般に亘つて

發生を

見た、ゆゑである、これがため米價が安くとも豊作だからと樂觀してゐた農村は一層窮乏を告げ目下肥料の購入期に入つても肥料代どころか日用品の購入にも事欠きの状態だから本年末の書入時は非常な苦境に陥るであらうと

優良馬検査

獎勵金交付

石城産馬畜産組合で過般行つた種牝馬検査の結果優良種牝馬として組合から獎勵金を交付される事に決定したのは左記の通りである

△一等(參拾圓)ヴェイナール川前村矢内半藏、ホツブ三坂村小泉喜一、ブルムプトシ入遠野村小吹

養兔獎勵の爲め 共同販賣を周旋

頭數を秘密裡に調査中だが 郡下には約五千頭

石城郡農會では農村振興策の一端として昨年来盛んに養兔事業の獎勵に努めてゐるが最近事業は急激なる發展を見その頭數の如きは郡下では驚く可き數字に上つてゐるが今回これが共同販賣を周旋すべく目下秘密裡に町村農會を通じ調査中だ

名簿を縦覽

來る五日から

平町の明年行はるべき衆議院議員選舉名簿は町當局で晝夜兼行のそれが作成を急ぎ

目前で父親が惨死

娘は一足遅れて死を免る

安達郡小濱町大字小濱生れ當時内郷村大字白水字川平入山採炭會社川平居住坑夫伊東佐太郎(三)は長女ナミ(三)を伴へ三十一日午後五時頃第二斜坑へ入坑作業中落盤の下敷となつて壓死を遂げたがナミは一足遅れたばかりに其難を免れたと

炭礦が爆發

坑夫一名重傷

石城郡山田村地内に於ける支那人經營の昭和炭礦で一日午後一時頃三十餘名の坑夫が坑内で作業中充滿せる瓦斯に引火大音響と共に爆發したので附近に居合せた朝鮮人黃正末(三)は全身に瀕死の火傷を負つたが他の者は漸く避難し消防に



家庭欄

火持を良くする法

第一に炭が良質でなければならぬがそれよりも灰が常に新しくして「火もち」を助けるやうにされてゐることの方が大切である。何と

台嶺山監督局から中橋行政課長一行湯本町に來り三十一日の兩日に亘り詳細に實地検査をなしたが始めて事件の真相を知つた湯本町民は東京の福岡辯護士を代理人として目下繁争中であるが去る十月三十日仙

警女同窓會

前校長の追悼

縣立警城高等女學校同窓會は來六日午前九時より同校講堂に於て總會を開催櫻井前校長の追悼會を爲し會員の演説等あつて餘興に移り終日の清興を共にする由

靴を盗んで

酌婦に入れ場

伊達郡福田村大字福田生れ當時住所不定窃盜前科一犯穴戸定吉(三)は去る九月中平町應匠町下宿屋鐵北館玄關先から赤革靴一足(價格十圓)を窃取して他へ賣却し南町邊の料理店にて費消してゐた事平署の刑事に探

米突法の宣傳

縣衛

器檢定所ではメートル法普及を徹底せしむる目的で十三日湯本町十四日小名濱町にて何れも午後一時から小學校に於てメートル法及度量衡講話會を開催すると

地下道熱望

町長から陳情

本縣知事宛宛杉原四倉町長からの陳情によれば常磐線四

運送店指定

鐵道省

倉庫北方踏切は道路面から約十尺餘の高地である急勾配で通行甚だ危険去る五日の如きは荷積馬車諸共逆行顛落慘死した程であるから踏切を廢し地下道開鑿をして貰ひたいと云ふにある

明紙休刊

明三日は

明治節に付き祝意を表さんが爲め休刊致します

知され一日同所附近を徘徊中取押ひられ嚴重なる取調を受けてゐるが數日前平第一小學校の某訓導からも靴職工であるを稱し修繕してやるからと騙取し三圓で賣却費消してゐた罪狀を申立ててゐるが餘罪もある見込だ

口腔宣傳講演

クラ

ブ齒磨本舖にては口腔衛生宣傳の爲め來る十九日午後五時半より平劇場にて同日午後六時半より入山健康保險組合主催にて湯本三函座に夫々講演會を催すと

平署剣士出發

福島

市に於て舉行される武道大會へ平署から出席の爲め二日猪狩署長外鈴木渡邊兩巡

販賣組合役員會

石

城郡販賣利用組合では六日午後一時から組合事務所役員會を開き本年度事業経過報告をする

灰の塊が幾個も混じてゐるのを見る。その塊こそ今の説明に出て來るガラス質の固形で故にこれを生ぜしめないやうに常に篩にかけて灰をやはらかく且空氣が多量にふくまれ得るやうにして置かなければならぬ故に藁灰はこの點からいつて理想的のものである

なれば木炭の燃焼によつて生ずる灰は殘留物として加里を多量にふくんでゐる。その加里が火勢を媒介して更によく燃れてゐる灰中の砂質と化合して硝子質の固形を作り上げてしまふ實物を見るときは別な灰塊を

乗上小川に至り夫れより川前驛迄警城耶馬溪の勝景に親しみつつ行軍を行ふ等午後四時列車で歸平の豫定である

勿來、勿來運送株式會社 植田、植田運送合資會社 泉、泉運送合資會社、湯本、湯本運送株式會社、綴、日野運送店日野貞利、平、平運送株式會社、草野、草野合資會社、草野合資會社、野合資會社、四倉、四倉合資會社、送株式會社

平町の明年行はるべき衆議院議員選舉名簿は町當局で晝夜兼行のそれが作成を急ぎ